

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年 11月 21日公開

ローマ法王、ヨーロッパ、中東

.....
イスラエルのテルアビブよりシャローム。アジアの皆さんには夜遅い時間で申し訳ありません。この時間しかアップデートが出来なかったのと、お伝えしたいことがいくつかあったのです。いくつかはとても心をかき乱される内容なので、覚悟して聞いてください。全体的には、全ての事が動いていて、ある人は「間違った方向に向かっている」と言い、またある人は「正しい方向、または然るべき方向に向かっている」と言います。一つ確かなことは、現在、物事が猛スピードでどんどんエスカレートしているということです。

まずは、この日曜日（11月19日）、ローマ法王から発表された言葉について、お伝えします。信者に対して、多くの罪の完全免除を保障する「いつくしみの特別聖年」の閉幕式典で、特別ミサを捧げた後、ローマ法王は手紙を読み上げました。この手紙は“Misericordia et Misera”（“Mercy and Misery” 憐れみと苦悩）と呼ばれるものです。

「この一年を振り返ると、私たちは大きな憐れみを受け、これから先の道を示されました。」

その手紙の中で…手紙は、イエスが姦淫の女を許した福音にちなんで題名がつけられていました。このように、ローマ法王は新約聖書の話を持ち出して語り、何をしたのかと言うと、彼は全司祭が妊娠中絶した女性を許す「赦しの秘跡」の権限を、期間限定から無期限に拡大しました。言い換えれば、もしあなたが女性で、中絶することを選んだとして、これまでのカトリック教会は、それに対して問題があったというのです。基本的にカトリックは、胎児を受精した時点ですでに命と認めていました。ですからカトリックでは長年、中絶は深刻な罪だったのです。それは生き物の命を奪う行為ですから。ヒラリー・クリントンは演説の中で「生まれていない赤ん坊に人権はない」と言いましたが、神の目から見たら、赤ちゃんの命は生まれてから始まるものではありません。詩篇 139 篇にはこうあります。

13 それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちで私を組み立てられたからです。

（詩篇 139:13）

16 あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書き記されました。私のために作られた日々が、しかも、その一日もないうちに。

（詩篇 139:16）

ですから、聖書でそう書かれている限り、神がそう言われる限りは、胎内にいるときから赤ちゃんは生きている者であり、命を奪うことはできません。そしてカトリックでは、これま

では位の高い特別な司祭にのみ、中絶を許すことが出来ていたのが、ローマ法王フランシスがカトリック史上初めて、全司祭に中絶を許す権限を与えたのです。一般の司祭全員、世界中のカトリック司祭全員に、です。それから、これまではそれが間違いである、それは絶対に犯してはならない罪だと考えていた世界中の女性たちも、もはやそうは思わなくなりませす。カトリック信者の女性も、これが許されることだと考えるようになり、司教や特別な司祭を通さなくても、近所の司祭の所へ行けば、それを許してもらえ、と。

さて、なぜ私がこの話をしているのかというと、それはこの流れ・行程が数年前から始まっていたということ、私たちが理解しなければならないからです。フランシス法王は急速にビッグ・バン理論や同性愛のアジェンダ（行動計画）、そして地球温暖化を支持し、全ての宗教は同じ神を拝んでいるとか、ただ良い人になればそれで良いなどと伝えました。私のメッセージ「世界統一宗教のおこり」をぜひご覧になってください。（2016年11月30日以降、日本語字幕付きがDIVINE USのYou Tubeチャンネルで閲覧可能になりました）その中で、カトリック教会が6段階を踏んで、どのように世界統一宗教を構築しようとしているかを説明しています。しかし、これはかなり大きな前進です。なぜかと言うと—私はこれを「トランプ効果」と呼んでいますが、—これは明らかに命に関わる場合ではなく、不注意にセックスをして、赤ん坊を殺そうとする人のことを言っているのです。同時に、世にもそれぞれ独自のアジェンダがあることを私たちは見えています。その中で、アメリカのアジェンダは神のあわれみによって、寸前で止められました。しかし、これはまだ西側諸国や世界のアジェンダとして突進中なのを、私たちは目にしています。聖書にあるように、反キリストはまだ出ていなくとも、

7 不法の秘密はすでに働いています。

（第2テサロニケ2:7）

つまり、不法の秘密がすでに働いているのを、私たちは今、目撃している、ということです。だからアップデートする必要があったのです。これは昨日（11月20日）起きたことで、これによって、絶大で絶望的な影響を及ぼすと思います。これによって、今もう既に「近所の司祭が許してくれるから」と言う理由で、何千という数をはるかに上回る赤ちゃんが、何の罪悪感もなく殺されています。これによって、どれほど無実の血が流されるのか、私には想像もつきません。これまで、私がカトリック教会に敬意を持っていた唯一の理由が、中絶に反対していることでしたが、その最後の一つさえも、この新しい法王によって覆されたのです。見ての通り、ローマ法王フランシスは新約聖書の聖句や話を利用して、イエスがいかに姦淫の女を赦したかを伝えましたが、これは姦淫の女に対してであって、赤ん坊を殺すことではありません。そこには中絶は含まれていません。もしイエスに、中絶に対して聞いたなら、絶対に主は言うでしょう。「これは命だ。奪ってはならない」と。イエスは誰をも殺す

ことを奨励しませんでした。中絶は人殺しです。この、ローマ法王フランシスが行った領域に関しては、これからも続いて行くでしょう。

さて、次に皆さんにお伝えしたいのは、ヨーロッパで起こっていることについてです。恐らく皆さんはご存じないでしょうが、こうして話している間にも、EU 議会はフランスのストラスブールに集まって、投票しようとしています。ヨーロッパが創設しようとしている、新しい軍のための投票です。ローマ法王の中絶問題が「トランプ効果」だとすれば、これはヨーロッパにおける「イギリスの EU 脱退 (BREXIT) 効果」です。ヨーロッパ軍に関して、イギリスは最大の反対者でした。なぜなら、もし、イギリスが多大な資金や軍事力を負担することになれば、イギリスの戦争への備えに影響を及ぼしてくるからです。そして、いまだに NATO (北大西洋条約機構) がそこにいるのに、ヨーロッパ連合軍を作る意味がない、というのが彼らの見解でした。しかし、ひとたびイギリスが EU を脱退して、その力がなくなると、フランス、ドイツは直ちにヨーロッパ連合軍に向けて推し進めました。彼らは、その連合軍に対する何十億ユーロもの資金投資について協議しています。

なぜこれを私が話しているのかというと、エゼキエル 38~39 章にある通り、アメリカは自国の問題で忙しくなり、ロシアがイラン、トルコと共にイスラエルの山でくじかれた後、ヨーロッパが次の超大国になると、これまでに何度もお話ししてきました。そして、ヨーロッパから反キリストが登場すると私は思っています。また、反キリストが起こるには、統一政府のみならず連合軍も必要で、それから当然、ローマ法王が先鋒している世界統一宗教と、現在出来つつある世界統一経済も必要になってきます。そこで面白いのが、軍事面については誰も何も話していなかったのです。皆、政府や経済や宗教については話していましたが、誰も言及していなかった連合軍が、私たちの目の前でまもなく創られようとしているのです。そして、そのことで多くの人が恐れを抱いています。そこで皆さんに知っておいてほしいのは、現在こうして話している間にも、これら全ての事がフランスにおいて進行中であるということです。2000 年に完成した建物、3000 億ユーロがつぎ込まれたバベルの塔の形をした建物で、です。ツアーに参加すると、その建物はバベルの塔を模して造られた、と彼らは案内しています。ともかく、新しいバビロンは新しい軍隊を創設するための協議をしています。パチカンから世界統一宗教が、西ヨーロッパの首都から連合軍がおしだされようとしているのは、とても興味深いことです。これは結構衝撃的です。私たちは今、驚くべき時を生きています。

覚えていますか？ローマ帝国の崩壊からこれまで、ヨーロッパが軍事的に一つになることはなかったのです。ヨーロッパが EU ヨーロッパ連合として結合したのは、経済的・社会的であって、二つの世界大戦から学んだ教訓を忘れて、彼らは再び連合軍を始動しようとしています。そういうわけで、大変な時代なのです。ヨーロッパはまた、深刻なリーダーシップ

クライシス（指導者問題）に直面しています。アンゲラ・メルケル（ドイツ首相）はまた出馬を表明しましたが、ドイツ人は彼女に投票しないでしょうから、時間の無駄というものです。事実、ヨーロッパのリベラル派は今、全てが崩壊しています。フランスでは大変な保守派指導者が支持されて、数か月後には間違いなくオランド大統領と入れ替わることでしょう。それからスペインでは、何千何万というデモ隊が鉤十字を手に、通りに出て抗議しています。彼らは何十年も前にスペインを支配していたフランコ将軍（1832～1975）に忠誠を立てています。そして片や、リベラル軍勢の左派と。このように、ヨーロッパは今、見事なまでに分断され、弱体化し、非常にもろくなっています。さらに、彼らは今、難民問題に直面しています。やがて、彼らが求め、熱望したリーダーがヨーロッパから生み出されることになるでしょう。その時、彼が必ず取り仕切ることになります。反キリストがもうすぐそこまで来ている臭いがします。そして、皆さんもご承知のように、私たちクリスチャンは、彼が登場し支配する時にはここにはいません。私たち聖霊の宿る者は、第二テサロニケにある通り、「引き止める者」です。

7 …しかし今は引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。

8 その時になると、不法の人が現れます…

（第二テサロニケ 2:7～8）

というわけで、私たちはかなり面白い時代に生きています。私はある意味とてもワクワクしているのです。しかし、同時に心配もしています。あまりにも多くのクリスチャンたちがいまだに眠っているからです。あまりにも多くの方が、トランプが勝った後、また「教会ごっこ」に戻ってしまいました。言っておきますが、私たちに残された時間はほんのわずかで、すべきことが山ほどあります。そして、私たちの周りを取り囲むほとんどすべてのものが、今や終わりの時と叫び声をあげています。

次に、イタリアについてもアップデートしたいと思います。何千人ものイスラム教徒がイタリアの市街に出ているのを目にしました。イタリア政府は、モスク建設を許可せず、すでに存在しているモスクも閉鎖しています。イタリア人は、フランスやオランダやベルギーのように、イスラム教徒に占領されることを望んでおらず、また非常に恐れています。イスラムのデモ隊はコロシアムの真ん前で、巨大な祈りの集会を開いています。そして「次はバチカンへ行くぞ」と言っています。言っておきますが、彼らがバチカンへ行けば、ローマ法王フランシスは彼らを歓迎して言うでしょう。「私たちは、同じ神を信じているのですよ」と。

私たちは、フランス、スペイン、イタリア、ドイツ、次から次へとリーダーシップクライシスが起るのを目撃しています。そこから空洞が出来上がり、それを反キリストが埋めることになるのです。

次に、ヨーロッパ、バチカン、ローマ法王のおぞましい決断から、中東へと目を移しましょう。

シリアでは、現在こうして話をしている間にも、アレッポの東ゲッターが、アサドとロシアの空爆によって破壊されています。その中には化学兵器も含まれています。

よく聞いてください。

今まさに、化学兵器が使われているのです。約 25 万人の市民が昼夜爆撃され、病院ももはやありません。先週、全ての病院が破壊されました。食べ物も、薬も、学校もなく、多くの子どもたちが毎日毎日死んでいます。オバマは懸念はしていますが、何もしていません。国連は、明らかに何もしていません。世界は目を瞑っていて、ロシアはやりたい放題のことをしています。この大規模な作戦のために、巨大艦隊が送り込まれたのです。以前お伝えしたように、いったん空母アドミラル・クズネツォフが地中海に到着すると、彼らは実に明確に「いかなる飛行物体もその周辺を飛行することは許さない」と提示してきました。それはイスラエルにも伝わりました。ですから現在、イスラエルにとっては、シリアに対応するのが非常に困難な状態です。我々はシリアから武器を積んだ怪しげな船が出入りするのを目撃しましたが、シリアに関して我々は、後ろ手に縛られている状態なのです。我々はロシアと連絡を取り合い、交渉しなければならないのです。想像できますか？ 自分たちの国境で怪しげな動きがあるのに、シリアを攻撃するのに、ロシアにお伺いを立てないといけないのです！信じられない時代です！

しかし、とんでもないことが起きているのはそこだけではありません。イラクのモスルでは、アメリカ軍が爆撃しており、近隣の町では多くの人々が殺害され、様々なことが起きています。西側諸国は実にご都合主義で、イスラエルに対しては、我々が自衛して誰かが死ぬと、国連安保理や全ての所が強く非難するのに、ロシアやアメリカが近隣諸国を爆撃しても、遠巻きに見て、何もしようとしないのです。世界は沈黙し、何一つ手を出しません。彼らがあらゆる人権を犯していても、です。彼らは病院や診療所、学校を破壊し、子どもたちを生き埋めにしてしているのです。それでも、誰も一言も声を発しません。これは実に悲しいことです。

次に、つい先日報告しましたが、イランとロシアが 100 億ドルの武器取引交渉を行っています。トルコもまた、ロシアと交渉中です。理解すべきは、ロシアにとって、全ては現金のためだということです。イランが現金を必要としていたのを、アメリカが資金提供しました。そして今、ロシアが現金を必要としており、イランが提供しています。それから、トルコも現金が必要です。このように 3 か国が手を組み、いずれはイスラエルに攻めてくるのです。現在彼らは非常に厳しい状況にあり、経済はフラフラです。つまり、3 か国全ての現金の貯蓄高が激減しているのです。トルコの観光産業は低迷しており、イランは原油価格の低迷で

持ちこたえられません。そして、これらの国々は資金を必要としており、問題解決には平和よりもむしろ、戦争の方が都合が良いのです。そして、トルコは今、ヨーロッパと交渉中です。ここに注視してください。ヨーロッパはイスラエルに対して、人権問題を昼夜説いているのに、その同じヨーロッパが、エルドアンが彼のメディアにしていることには目を背けています。それはつまり、全てのテレビ局や新聞社が閉鎖されて、編集者全員が刑務所に放り込まれている、言論の自由、基本的人権の侵害です。しかし、イスラエルに対して、毎日説教をするヨーロッパ連合は、トルコがEUと協議して難民を自分たちの所に流入するのを止める手助けをしてくれるのなら、彼らに対して何も言わず、目をつむろうと決め込んでいるのです。そして、トルコは実に賢いのです。彼らはヨーロッパと交渉のテーブルに着き、協議に同意して言いました。

「我々は難民をギリシャやハンガリー、ブルガリアには行かせない。その代り、2年かけて30億ユーロを要求する。」と。最近、つい数日前の事ですが、エルドアンはヨーロッパの使節と面会し、こう言いました。

「我々は2年なんて言わなかった。年間に3,000億ユーロと言ったのだ。」

そして当然のことながら、ヨーロッパはトルコに裏切られたと思っています。先ほども言いましたが、全てはカネ、全てはゆすり、全てマフィアのような手口です。これが現在の中東の姿です。これが私たちを取り囲んでいるのです。ですから、私たちは常に目を開いて、自分たちの周りで何が起きているのかを理解する必要があります。

最後にお伝えしたいことは、とても心が痛い内容で、悲しい出来事です。こんな話は、しなくて済むのならしたくはありませんが、話さなくてはなりません。

今日、facebookでメッセージを受け取りました。差出人は、アメリカ在住ハイチ出身のハイチ人女性です。彼女からのメッセージに、私はとても悲しくなりました。その上、彼女はこのことについて話してほしいと言ってきました。その内容とは、「トランプが選ばれたことについて、神は本当に黒人の事を思っているのでしょうか？」

私は黒人ではないですし、アメリカ人でもありませんから、人々が本当に何を考え感じているのかは、深くまで理解することはできません。ただ、メディアがどれだけ上手く人々を洗脳できたのかは、想像がつきます。「自分たちはガス室に放り込まれる」と人々に思わせているのです。しかし、言わせてください。この女性はとても真摯に質問を書いております。トランプが選ばれたことで、神は黒人の事を気にかけていないと考えている人がいると思うと、私はとても悲しくなりました。

そこで私は伝えたいのです。それも、明確にお伝えします。

恐らく、イエスを救い主だと受け入れ、バプテスマを受けた一番初めの異邦人は—これは一家の話ではなく、一個人の話です—彼はエチオピアの宦官でした。(使徒の働き 8:26~39) もし、これが肌の色や民族に関わらず、全ての人類に対する、神の愛と意思を示しているの

でなければ、いったい何でしょうか？エチオピアの宦官が受けた、救い、贖いの福音、無償の永遠の命、水の洗礼。事実、言っておきますが、新約聖書で一番最初に「携拳」という言葉が出てくる箇所、ギリシャ語で“Harpazo”は、ピリポがエチオピアの宦官の目の前から消えた時（使徒 8:39）でした。まるで、御霊がピリポを誘拐したかのようです。私が皆さんに理解していただきたいことは、神が全ての世を愛しておられ、そのためにひとり子をお与えになられたのです。神が異邦人よりもユダヤ人の方を愛しているとか、黒人よりも白人を愛しているとか、女性よりも男性を愛しているとか、そんなことはありません。主は、あらゆる肌の色の全ての人を愛しておられます。そして、ドナルド・トランプが選挙で勝ったという事実は、肌の色とはまったく関係がありません。それは全く別の問題です。

この 8 年間のアメリカの政権と全ての民主党員は、黒人の事を大事にしているという外見を装いました。黒人が良くなること、黒人の将来を大事にしていると思せかけたのです。しかし現実には、民主党が政権を握る州はどこでも、黒人が住むには最悪の場所となっています。犯罪率が上がり、教育は存在せず、貧困が貧困を招いているのです。逆に共和党が政権を握る州では、どこでもその反対となっています。たとえ、黒人が居住している場所であってもです。私は共和党が聖徒だと言っているのではありませんよ。そうではなくて、黒人にとっても、誰であれアメリカの有色人種にとっても、民主党は救世主ではないと言っているのです。これは地獄の底から湧いて来た嘘です。アメリカに人種差別はあると思います。KKK(Ku Klux Klan の略：アメリカの秘密結社、白人至上主義団体)やその他もあるし、差別はあると思っています。そして、アメリカは民主主義であるべきだと思います。言論の自由、憲法修正第二条、これらのものは全て、そういった人たちが声を上げるためのものであると信じています。それでも言っておきますが、ドナルド・トランプに投票した大多数の人は、聖書を愛し、神の御言葉を愛し、だからこそ全ての人をありのままに愛する人たちです。そして多くの有色人種がドナルド・トランプに投票したことも私は知っています。それは彼らが、トランプが掲げている公約に目を向けたからです。つまり、聖書的な価値観が対抗候補には見られなかったのです。これははっきりとさせておくべき事です。多くの人々がドナルド・トランプの勝利を利用して利用しています。ユダヤ人の墓地に鉤十字のスプレー落書きがされていたのを見ましたし、それから、黒人がアフリカに送り返されるとかなんとか言って脅かされていることも知っています。しかし、よく考えてみてください。ドナルド・トランプが反対しているのは、不法入国し、犯罪歴のある者にだけです。それだけなのです。

もし、今あなたがシンガポールに不法入国しようとしたとして、犯罪歴があったとしたら、間違いなく追放されるでしょう。フィリピンでもインドネシアでも、イスラエルで試してみても良いです。これらの国々へ行こうとするなら、どこでも同じです。国の上に立つリーダーが、自国に不法入国しようとする者を—必要な審査も受けず、どんな人間が入って来てもわからない、不法入国者を—取り締まったとしても、世界の誰も驚かないでしょうし、あ

るいは驚くべきではありません。しかも彼らが、ただやって来るだけではなく、凶悪犯罪を犯す集団だとしたら、そういった者たちをどれくらい追放すべきでしょうか？私なら、自分の国に入ってきて犯罪を犯す不法移民は追放してほしいと思います。ヨーロッパ人の誰もが、自分たちの国に不法で入ってきて、犯罪を犯している移民を追放してほしいと思っています。全てのアジア諸国も同じように思っているでしょう。しかし、メディアはトランプが有色人種を嫌っているかのように見せかけ、メキシコ人、ラテンアメリカ人、アジア人を嫌っているように煽っています。それはデタラメです。実際は、ドナルド・トランプが選挙で選ばれたのは、人々が現在のメディアに騙されなかったからです。イスラエルでも、メディアはリベラルで、私はメディアを「ミデヤン人」と呼んでいます…。世界中、ほぼどこでもメディアは非常にリベラルです。イスラエルでも、ドナルド・トランプは差別主義者だとか、反ユダヤ主義者だとか、いろいろなことが言われていますが、これもデタラメです。皆さんに言うておきますが、人々が声を上げたのだということを、理解しておかなければなりません。

過去 8 年間に起こったことは、これからの 4 年は起こりません。これが政権が変わることの醍醐味で、8 年間機能せず、アメリカを低迷に追い込んだことは、変わらなければならぬのです。そして、投票した人たちはこれまでにないほど声を上げたのです。おかしいのは、外でデモをしている人たち。彼らは投票もしておらず、雇われてデモをしているのです。私が笑ったツイートは「トランプは選ばれて数日後には、もう仕事を生み出している！」彼らはお金をもらって、抗議デモをしていますからね。ともかく、明確にしておきたかったのは、世界中に人種差別が存在していることです。しかし、アメリカの大統領選挙と人種差別は、全く関係がありません。問題は、アメリカが世界の第三国になりつつあったこと、アメリカが本質的な価値や夢を失いつつあったことです。

次に、悪人がこのことを利用して、人々を操ろうとしているか？ええ、もちろんその通りです。しかし、大事なのはそこではありません。私たちイスラエルでも同じことがありましたし、世界中で同じことが起こっています。保守派の候補者が勝つと必ず、リベラル派はその人を差別主義者だとか、原理主義者だということです。もちろん、差別主義者や原理主義者が、その全てを利用して、自分たちの主張をしようとします。私は明確にしておきたいのです。アメリカの合法移民、懸命に働き、神を恐れる人たちは、一切恐れることはないだけでなく、神がアメリカに短期間、あわれみの時を与えられたのだということを。なぜなら、

16 …義人の祈りは働くと、大きな力があります。

(ヤコブ 5:16)

アメリカ人が素晴らしいからではなく、実に多くの義人が熱心に祈ったため、神がそれを聞

かれたのです。だからこそ、今こそ腕まくりをして必死で働くときです。もう、時間はあまりありません。努めて主に仕え、生き方を変え、御言葉を聞き、伝えましょう。今がその時です。神があなたを愛しているかどうかを考えている時ではありません。周りの人たちに神の愛を伝える時です。そのために、神はアメリカに最後の短いチャンスを与えたのです。私はこのことにとっても感謝しています。ですから、私はこのメッセージをくれた素晴らしい女性に、伝えます。神は社会主義を正されます。そして神は虐げる者を愛しません。この8年間は自分の懐を肥やす羊飼いだっただけです（エゼキエル 34 章）クリントン財団ばかり、ウォールストリートの人々ばかり、グローバリストばかりです。彼らは何十億ドルというお金を我が物にして、他の人々を貧しく、教育を受けられないままにしたのです。アメリカにはもっと新しい学校・病院・システム・道路が必要です。新しい仕事も必要です。国外に出された仕事は国内に戻されるべきです。人々は働かなくてはなりません。人は働かないと、悪いことをする時間ができるのです。私はドナルド・トランプがそれをアメリカにもたらすと信じています。アップルが iPhone の工場をアメリカに戻すことを検討中だと聞きました。想像できますか？つまり、誰も恐れるべきではないということです。

トランプが選ばれたことで、恐れるべきなのは、アメリカをグローバル化しようとしていた人たちでしょう。アメリカの国境を取り払い、「アメリカは今後一切 誰の事も排除しない」という、つまりアメリカが消滅することを意味するアジェンダです。どうか、全ての事を神の御言葉で試してみてください。自分自身の事として見ないで、もっと大きな図で物事を見てください。もし、まだ生まれていない赤ちゃんの命を守るなら、そのことだけでも良いことです。もし、家族の価値を元に戻すのなら、誰が誰と結婚するのか、そのことだけでも価値があります。ですから、元気を出してください。これは世の終わりではありません。これはとても短い、アメリカにとって重要な時間の始まりです。ほぼ、ラストチャンスだと言っていいでしょう。

そして、前にも言ったように、これはイスラエルが約束の地に入る前と同じで、神は、神の役割として、その地を清めてくださいました。それから神は、警告しました。神はヨシュアを通して、警告したのです。「あなたがたに全てを与えた。勝利はあなたがたのものだ。」もし主を礼拝するなら、自己満足している場合ではありません。そうでないと大変なことになります。

15 私と私の家とは、主に仕える。

(ヨシュア 24:15)

皆さんお一人お一人も、今ここで、あなたも主に仕えると書いてください。馬鹿げたことに見えるかもしれませんが、それでも皆さん、どうか書いてください。「私は主に仕える」と。

皆さんの居住地と一緒に、これを宣言してください。言葉にして宣言してください。「私は主に仕える！」これを言うことはとても大切で、宣言することはとても大事です。これを理解すると言うことは、とても重要です。あなたが主に仕えるということ。そして、私たちが最後の段階に入るとき—この間の日曜日に、私の教会で説教した時に、携拳について話をしました。これから私が回る国々でも、これがテーマになります。来週私はクロアチアに行き、来年はフィリピン、フランス、南アフリカ、インドネシア、マレーシア、オーストラリア、シンガポール、**日本**へ行って、携拳について話します。**私は携拳を教えることに**

全てを捧げ、携拳に向けて人々を備えさせます。なぜなら、わずかの時間しか残されていないと思うからです。マタイ 25 章に書かれているように、私たちも備えをして、主に仕えているところを見てもらいたいからです。仕え、伝道し、御父の業に励んでいるように。どうか続けてメッセージをお送りください。毎日、何千通と言うメッセージを受け取ります。私は全てを読むことはできませんが、その中のいくつかを読み、スタッフがほとんどを読んで、できるだけ多くに返信ができるように努めています。もう少し頻繁にライブをしようと思っていますが、ただ、伝えるべき重要なことがある時にだけにしています。これはテレビ番組ではありませんから。

それから、大学生のお子さんをお持ちのお父さん、お母さん方へ。大学生の年齢の子どもたちのためのスペシャルツアーをご用意しています。現在起こっていることを見てください。デモをしている者のほとんどが大学生です。彼らは大混乱していて、アメリカの教育システムはめっちゃめっちゃです。そのため、大学へ進学すると、70~80%の若者が教会を離れ、信仰を捨てます。そこで私たちは、大学生年齢の若者たちを現場に連れて行き、そこで何度も聖書を教え、現実を教え、これは事実であることを見せます。ここにあるものを見せると、聖書が生き生きとしたものに見え始め、帰る頃には彼らの信仰が守られるだけでなく、彼らはそれを伝えるようになり、主について、聖書について、それから中東で実際に起こっていることに関して、燃え上がるのです。Facebook やウェブサイトから「ヤングアダルトツアー」を検索してください。2017 年 5 月末に予定しています。定員は若者 40 人と添乗員数名で、年に一度行います。もし主がまだ来られないなら、毎年一回行います。壊された大学生たちをここで修正し、思考回路を正して、彼らを備えさせ、装備させて、燃え上がらせて家に帰します。これは親として、また祖父母としても、彼らに対して素晴らしい贈り物になるでしょう。私が親、もしくは祖父なら、自分の子どもや孫を必ず行かせます！

それから、You Tube をチャンネル登録してください。また、インスタグラムや facebook もフォローしてください。194 か国以上から人々が私たちを見て、連絡をくださいます。これは本当に素晴らしいことで、皆さんに感謝しています。

I love you!

目を上げて、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエス（ヘブル 12:2）に向けて、備えましょう。それから元気を出してください。神はあなたがたを本当に愛しておられます。また神は、その子どもたちが備えることを望んでおられます。必要なことは、ただ心を整え、主に仕えることだけです。

15 私と私の家とは、主に仕える。

（ヨシュア 24:15）

テルアビブより、God bless you!

数日以内に、またお会いしましょう！ Thank you! God bless you! Shalom!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL（英語）、「DIVINE US」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO